

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2016~2017年度

第57代会長 清水 賢一
第57代幹事 大箭 剛久



人類に
奉仕する
ロータリー

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2016年9月15日(木) 第2732回例会 天候:曇り 司会:中山富貴子副幹事 No. 9

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱「それでこそロータリー」
- ◇会長挨拶
- ◇幹事報告
- ◇委員会報告 クラブ奉仕 他
- ◇卓話 イニシエーションスピーチ 木城基次君 橋本正一君 大竹孝一君

◎ゲスト・ビジター紹介

入澤初子様 (藤沢東RC)

◎幹事報告

◇米山記念奨学会より ハイライトよねやま 198

◇国際ロータリー第2820地区 2015-16年度ガバナーより

・鬼怒川水害見舞礼状 ・鬼怒川水害義援金報告書

◇茅ヶ崎商工会議所より 平成28年度優良産業人表彰の助成金交付について(お願い)

・10/6(木) 15:00~ ・茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

・被表彰者 従業員25名 ・助成金申請額 25,000円

◇社会福祉法人神奈川県共同募金会より ・”赤い羽根”共同募金への協力の依頼 ・あかいはねvol.27

◇タウンニュース

◎委員会報告[内容は割愛させて頂きます]

国際奉仕[加藤会員]/クラブ奉仕[古知屋会員]/親睦[横山貴会員]/社会奉仕[水嶋会員]

スマイル報告 品田和也会員

入澤初子様 (藤沢東RC) おじゃま致します。よろしくお願ひ致します。

清水賢一君 & 大箭剛久君 月半ばですが今月最後の例会です。皆様ゆっくり御歓談下さい。藤沢東RCの入沢さんようこそ。木城さん・橋本正一さん・大竹さん、イニシエーションスピーチよろしくお願ひします。

田中賢三君 本日は中秋の名月、月は見えなくても楽しみたいものです。入沢さんよくいらっしゃいました。ごゆっくりなさって下さい。イニシエーションスピーチ、木城さん・橋本正一さん・大竹さん、楽しみです。

小林 亨君 カーブ優勝ありがとうございます。

伊藤留治君 秋晴れが待ち遠しいですね。季節の変わり目です。体調にご留意下さい。

橋本正一君 昨日のゴルフコンペ楽しかったです。また開催して下さい。

大森久巳男君 木城様・橋本様・大竹様、イニシエーションスピーチ楽しみです。宜しくお願ひします。

加藤 寛君 本日は中秋の名月です。

程島利通君 久しぶりのゴルフ会に参加し、楽しく過ごすことが出来ました。ゴルフ会には是非ご参加下さい。

横山 貴君 藤沢東RCの入沢さんようこそ。本日のイニシエーションスピーチ、木城会員・橋本正一会員・大竹会員、宜しくお願いします。

中山富貴子君 すっかり秋めいてまいりました。入沢様ようこそ越し下さいました。木城さん・橋本さん・大竹さん、卓話楽しませております。

和田幸男君 藤沢東RCの入沢さん、ようこそいらっしゃいました。木城さん・橋本さん・大竹さん、イニシエーションスピーチお疲れ様です。

北村公子君 はっきりしないお天気が続きます。台風も気になります。イニシエーションスピーチ木城さん・橋本さん・大竹さん、お話し済みです。

木村信一君 木城さん・橋本さん・大竹さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。緊張してますか?

木城基次君 のちほどのイニシエーションスピーチ、よろしくお願ひ致します。

小澤雅彦君 藤沢東RCの入沢さまようこそ!木城さん・橋本さん・大竹さん、卓話とても楽しみにしております。

品田和也君 木城さん・橋本さん・大竹さん、イニシエーションスピーチ宜しくお願ひ致します。

[本日 17件、25,000円です]



イニシエーションスピーチ。左から木城・橋本・大竹の各会員

◎出席報告 小澤雅彦会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
9/15	2732	50	43	31	2	10	76.74%	
9/1	2730	50	42+4	41	1+0	4	91.30%	91.30%

木城基次会員〔横浜銀行茅ヶ崎支店・支店長〕

私は1967年4月10日生まれの49歳、羊年でございまして、東京の北区・王子というところで育ちました。学生時代はバスケットボール部に所属し、高校では朝から晩まで体育館を走りまわっておりました。

仕事については、平成2年に横浜銀行に入行し27年目に入ったところです。これまで営業店での勤務が約13年、本部での勤務が約14年と、営業店と本部を行ったり来たりしているような格好であり、現在は茅ヶ崎支店の支店長を務めております。私どもの茅ヶ崎支店は、現在の場所で36年、開設当初の場所から数えると75年を迎える店舗です。従前から地元のお客さまからご愛顧をいただき、資産運用や資金調達ニーズに幅広く対応できる総合店舗として尽力しているところでございます。

続いて、家族について少しご紹介をいたします。家族構成は、妻、そして、高校1年生の男の子が1人です。妻とは大学時代のバイト先「ミスタードーナツ」で知り合ってから約30年近くとなります。子供には何かスポーツをやらせたかったのですが、小学生の間はラジオ局、東京FMの少年合唱団に毎週末通い、中学からは吹奏楽部に所属しクラリネットを担当しております。出来が悪いので、今後どのような大人になっていくのか大変不安に思っているところでありますが、一緒に酒でも飲めたらいいなあという望みと、おそらく今よりもさらに厳しい時代を生きていくことになると思いますので、打たれ強く、様々な挑戦を続けていくと願っているところです。

ウルグアイの第40代大統領のホセ・ムヒカ氏が次のように言われました。「かぎりある人生を生きて、人生を愛し、どんな境遇であろうと人生のためにたたかい、それを伝えようとする美しさです。受け取るだけではなく、持っているものを与えてこそ人生です。どんなボロボロの状態でも、人は必ずだれかに何かを与えられます。人間はかぎりなく良い社会を築けると思うし、そう信じています。人は幸せになるためにだれかの力が必ず必要です。だから人間はだれかと理念を共有しなければいけません。」

私はこの言葉はロータリーの精神とも相通じるものがあるのではと考えております。私もロータリアンの一人として微力ではありますが頑張ってお参りたいと考えておりますので、皆様からのご指導をよろしくお願い申し上げます。

橋本正一会員〔浄土真宗本願寺派来恩寺住職〕

26歳だった1983年から86年までハワイのお寺の住職を務めておりました。その時のことを少しお話ししたいと思います。ハワイには浄土真宗本願寺派のお寺が36あります。カウアイ島には本願寺のお寺が5つありまして、そのうちのコア本願寺で住職をやるよう辞令を頂きまして、それがたいへん勉強になりました。

向こうのお寺は教会と同じように、毎週日曜になると人が集まってきました。日系人の婦人会の方たちが朝5時頃集まって巻き寿司を作ります。というのも、お寺はリゾート地にありまして、ホテルに宿泊している人たちから注文を受けて、資金集めの一環として作っていたわけです。7時になりますと、部屋に集まって礼拝をしてもらい、日本語でお話をさせていただきます。女性の方たちは親御さんと一緒に行動することが多いので、日本語がよくわかります。9時になりますと、サンデースクールで子供たちがやって来て礼拝します。子供たちには仏教の話を簡単にしたものを英語で伝えます。その後10時からメインとなるファミリーサービス、つまり家族礼拝ですね。一般の成人の方が集まって、合唱団なども大きな規模でやっておりました。日本語で原稿を考えて、それを英語に直してやっておりました。

もう一つの宗教者としての大きな仕事は病院見舞いでした。私は毎週水曜日に島の大きな病院に宗教者としてお見舞いに行き、受付で入院患者のリストを見せてもらい、その一覧の最後にreligion(宗教)が書かれていまして、Buddhist(仏教徒)と書い

てある人のところへ向かうわけです。簡単な衣装をまとって部屋に入りますと、合掌して喜んで下さり、素直に悩みを話して下さいます。それを医師や看護師、ボランティアの人たちのところへ持ち帰って、どう対応したらよいかを相談します。そういうケアの体制が整っていて驚きました。日本ならお坊さんの恰好で病院に行く、「縁起でもない」と言われてしまうところです。それだけ宗教観が違うということなんですね。向こうの人たちの宗教観は「今私が救われるには…」というもので、日本では亡くなった先のことになっています。

最後に連れ合いのことを話させていただきます。1985年、私がハワイにいた時のことです。当時関西出身の私が大ファンだった阪神タイガースが優勝しそうと、どうしてもそれに関する情報が欲しかったのですが、インターネットのない時代でしたから、電話で情報収集するしかなかったんですね。たまたまホノルルで会議があって、情報が欲しくて日本人の観光客を探しました。そして、向こうからやって来たのが今の妻だったのです。「僕、阪神ファンでどうしても情報が欲しいので、電話番号を訊かせてもらってもいいですか？」と俗に言うナンパのような形で知り合いました。彼女の家に電話をすると、しばしばジャイアンツファンのお父さんが出られて、そのうち仲良くなって、結婚の話になり、2度目会ったのは結婚式でした。これもご縁ですね。今も仲良くやっています。本当にハワイではいろんな出来事がありました。

大竹孝一会員〔農業生産法人(株)大竹農場〕

昭和48年4月21日、茅ヶ崎の芹沢というところで生まれました。当時は文教大学や里山公園もなく、「芹沢は茅ヶ崎のチベット」だと言われていました。今くらいの時期ですと、金色の稲の海が見渡せ、鮎や鯉、ヘビやカエルを捕まえて遊んでいました。小出小3年から高校までサッカーをやっていました。高校時代に椎間板ヘルニアになり、ボールの上に足が上らないほどになってしまい、サッカーを諦めたのですが、ついには歩けないほどになってしまったので、手術を受けることになりました。1ヶ月入院したため、足腰が弱ってしまい、農業大学校も1年留年しました。

大学校を卒業して就労しました。当時うちでは豚・ヤギ・にわとり・アヒルを飼うほか、トマトも作っていました。しかし、施設で作っていたトマトに疫病が発生し、中止せざるを得なくなりまして、作物を替えてコマツナとハウレンソウを作ることにしました。その当時は農薬を使っていた、夏場などは3日に一度は消毒していました。既に他の場所では農薬を使わない方法も確立していましたので、カヤの中で栽培する方法をやろうと両親に提案しましたが、採算が取れないということで反対されました。

自分は腰が悪いので、それほどは労働できなかったこともあり、パートさんを入れることにしました。そうするとひじょうによく仕事が回るんですね。農業では「1人+1人」が2人ではなく、3人・4人の働きになります。2~3手先を読んで、仕事を作ることによって、収穫量を増やすことが可能です。そうすると市場にも「これくらい出荷するからこれくらいの値段で買ってくれ」という提案・交渉が出来るようになります。ほぼ365日出荷するようになると、相手も信用してくれて、「スーパーを大竹さんに任せよう」ということになります。たとえばコマツナですと、底が20円、上は250円等値段の幅が大きいのですが、大量に生産することで安定した値段で供給できるようになります。そういうことも考えると、人を入れてやっていかないと難しいわけです。

その後、青年会議所に入る機会を得ました。そこで社会の仕組みや人との付き合い方というのも1から教わりました。ロータリークラブに入れたのも、そこでの先輩たちとの出会いがあったからでした。今、私が進めているのは耕作放棄農地を集めて、荒れた土地を耕してコマツナ・ハウレンソウの栽培に加えて、酒米を田んぼで作ることです。ロータリーでは自己研鑽に励みますので、皆さんどうかご指導をよろしくお願い申し上げます。